

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	1168
-----------	-----------	------

事務事業名	なばり本の帯コンクール事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	図書館	木村ユミ子	63-3260
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐむ生涯学習の推進
	施策	1	生涯学習
	小施策	1	学習機会の総合的整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	507504
一般会計	(中事業名)	
款 教育費	図書館費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 図書館費	なばり本の帯コンクール事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アドバンスコープ主催、名張市共催、名張市教育委員会後援の事業。 市内小中学生を対象に、「本の帯」作品を募集。 審査会で作品を審査(本の帯賞、本の帯努力賞、ふるさと乱歩賞、学校賞など) 表彰式を行い、賞状及び副賞を授与 	

めざす効果(事業目的)
小中学生の読書推進活動の一環

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)			
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 募集期間:平成21年10月1日~11月30日 募集対象:市内小中学生 応募点数:293点 入賞:本の帯賞 4点 本の帯努力賞 5点 ふるさと乱歩賞 1点 学校賞 2校 審査会:平成21年12月17日 表彰式:平成22年1月30日 その他:入賞作品の展示(図書館ロビー及び市役所ロビー) 事業費:30千円(21年度は、図書館運営費に含まれる。)ふるさと納税基金を充当	[事業内容(事業量)・事業費] 応募要項 作品:手にした本が読みたくなるキャッチフレーズを作製し、「帯」として本にかける。 締め切り:平成22年10月末 応募先:在学している市内学校又は図書館 表彰:本の帯賞、本の帯努力賞、ふるさと乱歩賞、学校賞に賞状と副賞を授与。 作品公開:図書館等で入賞作品を展示する。	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託(全部・一部)により実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 (アドバンスコープ主催、名張市共催、名張市教育委員会後援)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)
事業費(千円)		30	30	30	30	
の 財 源 内 訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()		30	30	30	30
一般財源						
人工数	職員(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	臨時職員等(人)					
人件費(千円)	730	730	730	730	730	
総費用+(千円)	730	760	760	760	760	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	作品応募点数	-	-	300	500	700
	実績		286	293			
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き主催者と協働し、事業の推進に努める。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
対象となる小中学生が減少していく。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践している(へ) ▼	協働等の主な相手先について 事業者(へ) ▼	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) イベント・行事等の共催(へ) ▼	協働等の今後の取組について 継続実施 ▼	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	対象を高校生・大学生及び一般に拡大する。	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
コンクール実施にかかる事務作業をすべて事業者で実施していくようにする。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1147	(H.22)No.	1169
-----------	------	-----------	------

事務事業名	図書館運営費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	図書館	木村ユミ子	63-3260
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 44 年度 ~ 平成 年度	図書館法、名張市立図書館設置条例、名張市立図書館規則	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐむ生涯学習の推進
	施策	1	生涯学習
	小施策	1	学習機会の総合的整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	507502
一般会計	(中事業名)	
款 教育費	図書館費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 図書館費	図書館運営費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーションに寄与します。各種催し物を企画、実施して図書(読書)へのきっかけ作りを行います。すべての利用者に等しくサービスの提供が図れるように移動図書館の運行、障害者サービスの実施等を行います。	

めざす効果(事業目的)
市民の教養と文化の発展に寄与

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	入館者数: 269,025人 蔵書冊数: 280,738冊 貸出冊数: 592,493冊 (内訳)本館: 532,665冊 移動図書館: 59,828冊 図書等購入費: 16,000千円 図書購入数: 9,943冊 視聴覚資料購入点数: 96点	資料の収集、整理、保存 資料の貸出(予約・読書案内) レファレンスサービス 各種催し物の実施	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			図書館サービスの実施	図書館サービスの実施	図書館サービスの実施
事業費 (千円)	55,233	55,701	55,701	55,701	55,701
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	55,233	55,701	55,701	55,701	55,701
人工数	職員(人) 1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	10,950	10,950	10,950	10,950	10,950
総費用 + (千円)	66,183	66,651	66,651	66,651	66,651

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	冊	-	-	-	-	6.4
	実績		6.1	6.7			
成果指標	目標	%	-	-	-	-	16.5
	実績		15.6	15.9			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	すでに目標値を超えた指標もある。引き続き事業を推進し、より良い成果を得られるよう努める。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
利用者の要求の多様化と高度化	過去の利用者アンケート調査では、3割を超える利用者が新刊購入を希望している。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践している(^)	協働等の主な相手先について 事業者(^)	業務委託の形態をとっているため、新たなサービスを展開するには委託料の増額が必要となる。
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 厳しい財政状況のため人件費の増額が見込めない中、現行の一部業務委託でカウンター業務等を行う形式が現在のところより良い方法と考える。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5046
-----------	-----------	------

事務事業名		図書館管理費	
担当部局名		担当室名	室長名
教育委員会事務局		図書館	木村ユミ子
連絡先		63-3260	
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 44 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
	施策	1	生涯学習
	小施策	1	学習機会の総合的整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	507501
一般会計		(中事業名)	
款	教育費	図書館費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	図書館費	図書館管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
図書館の施設及び設備の効率的な維持・管理	

めざす効果(事業目的)	
施設及び設備の維持	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理等委託料 (3,619千円) 電算機器使用料 (7,827千円) 複写機器等使用料 (705千円) 等	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理等委託 電算機器使用 複写機器等使用 	補助金・交付金	その他 ()	
	< H22年度への繰越明許費 図書館費1,867千円 >		平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)
			図書館管理	図書館管理	図書館管理
事業費 (千円)	21,014	20,442	20,442	20,442	20,442
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	21,014	20,442	20,442	20,442	20,442
人工数					
職員(人)	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
臨時職員等(人)					
人件費 (千円)	10,220	10,220	10,220	10,220	10,220
総費用 + (千円)	31,234	30,662	30,662	30,662	30,662

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市民1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	-	-	-	-
	実績			6.1	6.7		
成果指標	目標	年度内に図書の貸出を利用した市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			15.6	15.9		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
	空調の設定温度

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している(^)	協働等の主な相手先について 事業者(^)
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託 [業務量の50%以上相当] (^)	協働等の今後の取組について 継続実施
	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
図書館運営のために施設・設備の維持が必要	